

【問題の趣旨・採点基準】

■問題の趣旨

課題文では、「自己肯定感を高めるべき」という風潮が教育現場に広がり、教師がほめる教育を実践しているにもかかわらず、若者の自己肯定感が高まっていないと述べている。むしろ、自己肯定感を高められない自分はダメだと追い詰められる逆効果が生じており、表面的なほめ方やテクニックでは真の自己肯定感には至らないと指摘している。課題文を通して、自己肯定感をめぐる社会的風潮について、自らの経験を振り返りながら自分なりの考えを深めさせることを狙った問題である。

■採点基準

設問1

文章内の用語を適当に用いながら記述内容を適切に要約していることを採点基準とする。なお、字数に関しては80%以上回答しているものを50点満点の対象として採点し、字数が不足する場合には点数を4段階で減じて採点する。体裁の不備、誤字や文法の誤りについても該当する点に点数を減じる。

設問2

課題文を踏まえ、自己肯定感について自分自身がどのように考えているか、自らの経験をもとに自分の意見を明確に記述しているかを採点基準とする。なお、字数に関しては設問1と同じ取り扱いとする。

資格取得者一般入試